

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山市立建部中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒709-3142  
岡山県岡山市北区建部町建部上734

E-mail : takebec@city-okayama.ed.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 53 名 女子 70 名 合計 123 名  
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### 1. 本校のESDの特徴

建部中学校の教育活動全体を通してESDを推進し、豊かな感性、課題解決能力、表現能力やコミュニケーション能力などのESDにおいて基本的な能力を育てることを目標にしている。主な取組としては、以下の4点が挙げられる。

- (1) キャリア教育の推進：職場体験学習や進路学習を通して、将来の進路や職業について考える。
- (2) 環境教育の充実：総合的な学習の時間や家庭科の授業などを通して、地域の環境や環境保護、食育などについて学習する。学校内の環境美化のため、ボランティア活動を行う。
- (3) 国際理解教育の充実：総合的な学習の時間に、日本と外国の文化や伝統、国際問題について学習する。生徒会活動として地域に協力を呼びかけ、アルミ缶回収を行い、ネパールの教育支援の資金としたり、地域の福祉施設に車いす等の寄付をしている。
- (4) 人権教育の推進：道徳や学活、生徒会活動、各種講演会などにより、人権意識を高める。

→ 職場体験学習



→ 人権オリエンテーリング



→ 異学年総合（環境・健康）



→ 異学年総合（韓国語）



### 2. ユネスコスクールとしての活動・全体計画

- ① 5月～10月・・・総合的な学習の時間を利用し、異学年による学習をした。環境や国際理解について外部講師から講話を聴いたり、フィールドワークを実施したりして学習した。その学習の成果を発表会で地域に公開した。発表後はポートフォリオなどを活用し、振り返りと自己評価を行った。
- ② 10月～3月・・・学年ごとに総合的な学習の時間を利用した。1年

生は職業調べを行い、自分の興味関心のある職業を図書やインターネットを活用して調べた。また、外部講師として建築士の方を招き、講演をしていただいた。

2年生は職場体験学習や高校調べを行った。職場体験学習では、11月18日～20日までの3日間、地域の事業所で実際に働き、職業への理解と働くことの意義を理解した。また、高校調べでは、自分の興味関心のある高校をインターネットなどを活用して調べた。

3年生は進路学習を行い、自分の進路について真剣に考えることができた。

### 3. 特徴的な活動事例の紹介

#### アルミ缶回収活動（全校生徒）

生徒会活動の一環として、地域にアルミ缶回収を呼びかけ、地域の環境保全に貢献している。総合的な学習の時間の「国際・地域交流コース」での地域ボランティア活動の一環として、デイサービスセンター「ほのぼの荘」で交流を行うとともに、地域社会への貢献として、収益金でシルバーカーの寄付を行った。



↑シルバーカーの寄付



↑ほのぼの荘での人形劇



↑ほのぼの荘での清掃活動

### 4. 本年度の成果と課題

#### ○成果

##### ・学校としての成長

建部中学校区全体で連携することにより、教職員間での相互理解ができ、それが生徒理解へとつながった。また、アルミ缶回収や外部講師など、地域力を借りることで、地域全体で子どもたちを育てているという気持ちが高まった。

##### ・子どもたちの成長

地域でのボランティア活動を通して、自分たちの住む地域について理解を深めるとともに、地域を大切にすることが強くなった。また、地域の方にも活動の内容・様子を理解していただいたり、自分たちの活動が車いす等の寄付という形に表れたことにより、さらに充実した達成感を味わうことができた。

○課題

従来からの取組や活動を ESD の視点から各教科の授業やボランティア活動、生徒会活動などの課外活動に位置づけて進めていくことで、ESD の意識をより強く持たせ、充実した取組にしたい。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ( )